
2017 World Alliance Forum in San Francisco

Healthcare Game Changers

共同主催: アライアンス・フォーラム財団、日本国政府

於: カリフォルニア州サンフランシスコ | 2017年11月29日(水)～30日(木)



2017 WAFSF: Healthcare Game Changers

今、世界中で高齢化が進むとともに、慢性疾患が蔓延し、各国の医療費が上がり続けています。ただ、その流れを変え、ヘルスケアにおけるゲームチェンジを起こすことのできるイノベーションが現れてきています。イノベーションを積極的に生み出し、受け入れ、育成し、そして活用することが現在の急務であると同時に、未来の経済成長のエンジンとなるような事業・産業を興すことにもつながります。

そこで、2017 ワールド・アライアンス・フォーラム・in・サンフランシスコ(WAFSF)では、研究所や大学、ビジネス、病院、官庁、そして患者自身やその家族から発信されるインパクトフルなイノベーションを取り上げます。さらに、日米欧から多岐にわたる分野のリーダーが集まり、ヘルスケアのイノベーションをサポートするエコシステムー産官学の協調、法制度、ビジネスモデルやファイナンスーにも着目します。また、ゲームチェンジを起こす可能性を秘めた新技術として注目が集まる再生医療、遺伝子治療、デジタルヘルスの第一人者による発表も行われ、新しい治療やデバイスを患者に届けるための議論がなされます。

2017 WAFSFは、成長を続けるヘルスケア産業に関わる、または将来の進出を目論む多国籍企業経営者、先端医療やデジタルヘルス分野の研究者、起業家やスタートアップ経営者、産業団体や患者団体代表者などをターゲットとしています。

WAFSFとは

アライアンス・フォーラム財団は、先端技術の事業化と産業化を目指し、「ワールド・アライアンス・フォーラム・in・サンフランシスコ(WAFSF)」を日本国政府と共同主催しています。

イノベーションのメッカ、サンフランシスコ・シリコンバレーで開催されるこの国際会議では、他業種の企業経営者・事業開発責任者、ベンチャー起業家、投資家、研究者、政府関係者、関連団体代表者らが、米国・日本を中心に世界中から集い、先端技術の実用化に向けて議論とネットワーキングを行います。WAFSFの特色である、Cross-Border(国境をまたぎ)、Cross-Industry(業種の枠を超え)、Cross-Sector(産官学連携による)を活かした新事業と新産業の出発点となることを目指します。

2013年以来、WAFSFは、再生医療、遺伝子治療、ガン免疫療法、デジタルヘルスなど、ヘルスケアの新技术に焦点を当て、年一度の会議に各界のリーダー達合計1,000人以上が参加しました。構築されたネットワークは、パートナーシップやM&Aといった様々なディールのいしずえとなり、実際に事業や製品へと発展を遂げています。

“Never before in history has innovation offered promise of so much to so many in so short a time.”

Bill Gates



この会議には、日米のベストマインドに加えて各国のリーダー達が参加しています。アイデアを共有し、プロGRESSを生み出し、ケアの効果を改善し、そして新たな治療につなげる。この会議は、そのプロセスのアクセラレーターです。

— Robert Klein, CIRM



私達にとってこの会議で一番重要なのは、世界中から参加する多くのパートナー候補と会えることです。特に日本の企業や団体と協力関係を築く機会を得ることができたことは、私達のビジネスにとって非常に有益なことといえます。

— Robin Smith, ORIG3N



主催者が、CAR-Tや遺伝子治療といった最新のトレンドを加味し、意味のある議論を展開できているのは素晴らしいことです。「パックがあるところに行くのではなく、パックが動いている先の方向に向かうのだ」と有名なホッケー選手が言いましたが、この会議は、まさにそれを実行しているのです。

— Arlene Chiu, City of Hope

WAFSFの特色



世界最高峰のスピーカー

WAFSFでは、毎年各分野のトップリーダーをスピーカーに迎えています。写真は、2013 WAFSFで講演したノーベル医学・生理学賞受賞者の山中伸弥博士(写真左、京都大)、同じくノーベル化学賞受賞者のPaul Berg博士(写真右、スタンフォード大)。



ネットワーキング機会

WAFSFには、様々な業種やサイズの企業、研究機関、政府機関、産業団体などの代表者が集結します。このユニークな参加者構成が、新しいアイデアや枠組みを生み出し、共同事業やその他のパートナーシップ組成を促進します。



多様なビジネス機会

WAFSFのハイレベルな参加者にリーチするべく、毎年多くの企業が、スポンサーシップや企業プレゼンテーション、展示テーブルといったマーケティング機会を利用しています。その他には、ビジネス参加者向けの当地視察ツアーも高い人気を誇っています。



洗練されたプログラム

WAFSFでは、最新の研究結果やベンチャー企業の動向から、資金調達、商品化などのビジョン・戦略、規制や治験の分析まで、刺激的で活発、かつ総合的な議論が行われます。事業開発や新規案件発掘担当者には見逃せないプログラムです。

過去のスピーカー(抜粋、敬称略)



山中 伸弥
(京都大)



Paul Berg
(Stanford U.)



高橋 政代
(理研)



Daniel Kraft
(Singularity U.)



Pitch Johnson
(AMC)



今村 聡
(日本医師会)



Susan Solomon
(NYSCEF)



Michael Doherty
(Roche)



Emily Drabant Conley
(23andMe)



小澤 敬也
(東京大)



Stacy Feld
(JNJ)



Irving Weissman
(Stanford U.)



Edward Lanphier
(Sangamo)



Robert Klein
(CIRM)



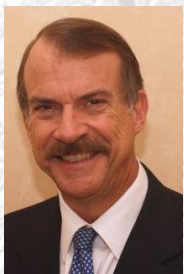
Robert Preti
(ARM)



岡野 栄之
(慶應大)



原 丈人
(DEFTA Partners)



Jonathan Thomas
(CIRM)



戸田 雄三
(FIRM)



Perry Karsen
(Celgene)



澤 芳樹
(Osaka U.)



Brock Reeve
(Harvard U.)

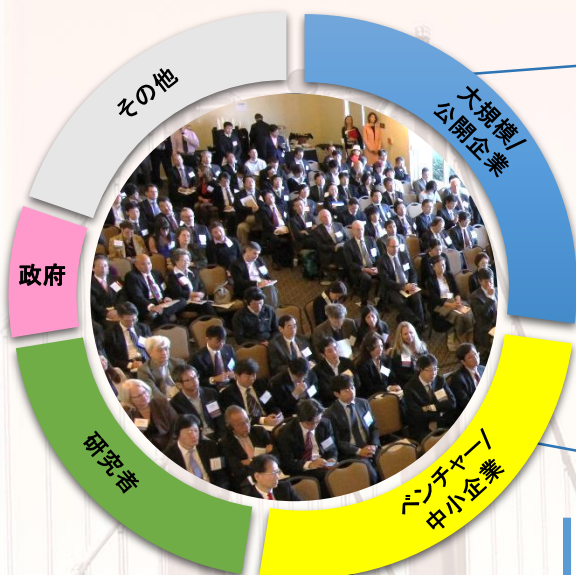


出雲 正剛
(Takeda)



Amy DuRoss
(GE Ventures)

出席者のバックグラウンド



50%+ 企業関係者、20% 研究者、10% 政府関係者

例年の参加者のうち、半数以上がビジネスの参加者です。さらに、その参加企業のうち、約50%が上場企業または大規模企業、残りの50%は、ベンチャー企業をはじめとする中小企業が占めています。

90%がデシジョン・メーカー

WAFSFのビジネス参加者のうち、約40%が会長、社長、取締役などを務める重要な意思決定者です。それに加えおよそ50%が部長レベルや課長レベルの役職を持っており、デシジョンメーカーに直接アクセスできるまれな機会です。

2013年以降、合計1,000人以上が参加

2013年に再生医療を取り上げて以来、合計1,000人超がWAFSFへ出席しました。うち多くは、アメリカ、日本から、その他にも、中国、韓国、カナダ、イスラエル、スウェーデンなどから参加しています。

政府関係者、産業団体、メディアほか

ビジネスの参加者だけでなく、各国政府の規制、政策、資金提供機関をはじめ、ARM、FIRM、NYSCFなどの産業団体、患者団体の代表者が毎年出席します。また、NHK、BSフジ、日経ビジネス、Forbes Japan、BioCentury、Cell Stem Cellなどのメディア各社も参加しています。

Details & Summary

会議名	2017 World Alliance Forum in San Francisco 「Healthcare Game Changers」
日時	2017年11月29日(水)～2017年11月30日(木)
場所	カリフォルニア州サンフランシスコ、ゴールデン・ゲート・クラブ
共同主催	アライアンス・フォーラム財団(国連経済社会理事会特別協議資格非政府組織)、日本国政府
目的	Cross-Border (国境をまたぎ)、Cross-Industry (業種の枠を超え)、Cross-Sector (産官学連携による)のコラボレーションを通じたイノベーションの事業化と産業化を促進する。
参加費 (予定)	早期(Early Bird)登録料: \$600、一般登録料: \$900*、英日同時通訳: \$100

*研究者、学生割引等あり。

登録・ウェブサイト

WAFSFに関するニュース、プログラムやスピーカー情報の閲覧、WAFSFへの登録・お支払いは以下のウェブサイトまで。

www.wafsf.org

お問い合わせやスポンサーシップ、その他のビジネス機会へのお申込は、以下のメールアドレスまで。

programs@allianceforum.org

